

中学生の部 入賞

僕のひいおばあちゃんは、百二歳です。毎日のように、「最近は働けていないね。ごめんね。」と言っています。でも、二年前までは、僕たちのために、一生懸命働いていた、ひいおばあちゃんの姿を知っています。

僕のひいおばあちゃんは二年前まで、僕たちが小学校に行っている間に洗濯物を干したり、洗ったりしてくれました。さらに、僕たちが家に帰ってきたら、必ず僕たちの部屋にいてくれて、いっしょにオセロや将棋をしてくれました。その時僕は、「とてもとてもありがとう」と心の中で言っていました。でも今は、自分の部屋にいて全然できてきません。だからこそ、呼ばれた時には、すぐにかけて、用事をききます。その時に、ひいおばあちゃんに、「ありがとう」と言ってもらい、嬉しくなります。

これからも、一生懸命介護をして、気持ちよく生活をしてくれるように、今度は僕が頑張りたいです。

愛知県江南市 中学一年生

まつおか えいしん
松岡 英心さん